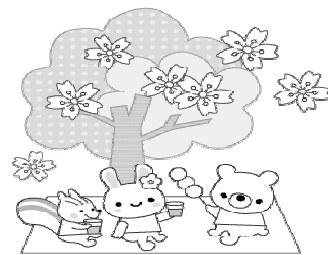


テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会 2014年4月8日 第55号

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き～テアトル9」を作りました。



若手弁護士のお話を聞く一第3弾！八木和也弁護士

「集団的自衛権と解釈改憲」

4月5日にサンパル7階会議室において、12名の参加者で聞きました。始まる前に、若手弁護士（八木弁護士も出演）による寸劇のDVD「憲法が出来るまで」を観ました。憲法がどうあったらいいのかが、立憲主義の大切なことを中心にした寸劇は、若手弁護士の名演技？により、お芝居大好きの私たちをカンドウさせてくれました。

八木弁護士は、「改憲はそこまできている」を前提に、ローマ帝国時代の戦争から、国際連盟から国連憲章と歴史的に集団的自衛権の持つ危険な本質を明らかにしてくれました。解釈改憲では、国民が積み上げてきた平和と民主主義、そして、国際社会に逆流するその安部政権の危険性を、9条への深い、熱い信頼をもとにお話しをされました。また、八木弁護士の生い立ちと原爆、9条とのかかわりのお話も、私たちに大きな関心を抱かせてくれました。質疑応答では、解釈改憲の動きに対して、それを拘束していく法的な措置はないのかとか、今の若者の置かれている状況と憲法への関心度などの意見交換がされました。

終わってからの八木・坂本弁護士を囲んでの懇親会は11名が参加（19歳の女子大生も途中参加）して、憲法・沖縄など和やかにお酒とお話しが弾みました。

今回の集まり、今の憲法を巡る情勢下、もっとたくさんの人への呼びかけが弱かったことが、大きな反省として残りました。

沖縄に行ってきました！

3月17日(月)から4日間、9名で辺野古、高江、普天間、嘉手納、南部戦跡...等を巡ってきました。



初めての沖縄旅行

今回の旅行で初めて私は沖縄を訪れました。やはり沖縄と言えば海。エメラルドグリーンの海がとても綺麗で印象的でした。美ら海水族館は海に近くとても気持ちよく、ジンベエザメが三頭いる大水槽は圧巻で、何時間でも眺めていられるような素敵な場所でした。現地の平和ガイドの方に最後に案内して頂いた米須海岸もまた印象的でした。「轟の豪」は住民の方々が逃げ込んでいたガマ(洞窟)のひとつで、実際に入ってみると懐中電灯がなければ何も見えず、隣にいるのが誰かもわからず、湿っぽく、気味が悪くて、こんな所に何日間もいなければいけなかったなんて、またこんな所で死ななければいけなかった方々は本当に無念だっただろうと胸が痛くなりました。「沖縄戦」と言われると地上戦が行われたことや、ひめゆり学徒隊、集団自決など、写真などで部分的には見て知っていましたが、具体的に沖縄戦が起こった経緯など知らない事だらけでしたが、実際に訪れて話をきくことが大切だなと感じました。

今回沖縄にきて沖縄本島の18%を占めているアメリカ軍の基地や辺野古の綺麗な海、沖縄戦について学び、絶対に2度と戦争はしてはいけないと改めて思いました。私の友達に戦争と平和、基地問題や集団的自衛権などについて興味があり知ろうとしている人はあまりいません。おそらくほとんどの人は無関心です。今日日本で何が起きているのか、過去を繰り返さないために何ができるのかを私達の世代がしっかり考えていかなければいけないと強く感じました。

(熊猫サークル 学生 S・A)

◇お願い：高江スラップ裁判に関する要請書の署名を集めています。例会場・テアトルコーナーに置いています。



～ 本の紹介 ～

『激突の時代』「人間の眼VS国家の眼」

品川正治 著

経済人の品川さんの眼でこの国のあり方や見方が、語り口調で、やさしく述べられている。経済がどんな形で国を動かしているのか。知らなかったことが沢山あり眼を開かせてくれた。
《新日本出版社》

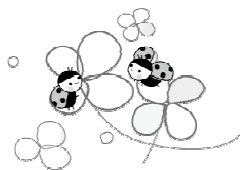
テアトル・ナインの新年会に参加して…

1月12日テアトル9の新年会に参加しました。僕自身鑑賞会からしばらく離れており、昨年11月例会「普天間」からの再入会だったのでテアトル9のことを知ったばかりで参加も初めてでした。

前半は吉田弁護士から「秘密保護法」の問題点についてお話いただきました。多くの反対の声を無視して昨年12月に法律が成立しましたが施行はもう少し先とのことです。まだ諦めるには早いようです。これからも反対の声を上げ続けねばなりません。

後半は前半の真剣なお話とはがらりと変わり参加者の方が持参された料理とお酒で楽しい歓談タイムになりました。みなさん元気あふれ、この人たちのパワーがある限り神戸演鑑もテアトル9も不滅だと確信してしまいました。

安倍政権下で憲法を守る闘いは受難の時です。さらに多くの人がつながっていかねばなりません。ぜひぜひみなさんもテアトル9の活動に参加してみてください。(松浪)



例会場「テアトル9コーナー」に お立ち寄りください！

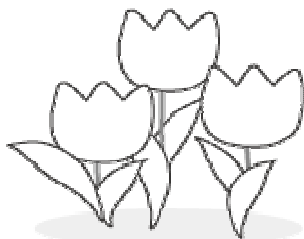
テアトル9グッズのプラバン、また賛同者の方にはニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！

連絡先は

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579



お芝居と平和 ⑥

民藝公演『ゼロの記録』 1968年7月例会

そんなに芝居が好きでなかった私でも、60・70年代の例会は20代の私が、生きていく上でのあらゆるものを授けてくれました。その中で、「お芝居と平和」という題材なら、やはり、大橋喜一作『ゼロの記録』です。敗戦まじかに生まれた私は、戦争の恐ろしさや原爆がなぜ広島に落とされたのかは殆ど知りませんでした。大橋喜一と演出家早川昭二が、アメリカが何のために原爆を落としたのか、戦後の日本とアメリカの歴史、そしてそんな下で人間・日本人の在り様を、渾身の思いで作上げた作品でした。さらに、佐野浅夫、清水将夫、草薙幸二郎、大森義夫、大滝秀治、吉行和子さんたち民藝のベテランから若手まで、その真摯に人間と舞台に向き合う演技は若い私の心を揺さぶりました。そして今、私が、平和や核を考える原点になっています。また、芝居への期待を深めるために、バス2台で広島へ行き、原爆資料館へ訪れた時の衝撃、舞台に出てきた泉久松の詩「にんげんをかえせ」の原作者・峠三吉の詩集を買ったことも忘れることができません。最後に、私が書いた人たちは、吉行さんを除いて全て鬼籍の人です。60周年という機会に、私たちに感動や勇気を与えてくれた新劇人を思い起こし語り合いませんか。

ちかまつ 米田哲夫

☆☆☆ 催し案内 ☆☆☆

ドイツと日本の戦争責任

～アンネの日記をめぐる～

講師:根津 茂 氏 (真宗大谷派僧侶)

日時:4月26日(土)18時30分～

場所:東灘区民センター8階 第1会議室

参加費:500円 東灘九条の会 主催

神戸憲法集会

グローバル化と国民国家の危機

講師:内田 樹 氏

日時:5月3日(祝・土)13時30分～ 資料代 ¥1,000

場所:神戸芸術センター2階「芸術劇場」

ご縁あって東北を忘れない

結コンサート

日時:5月10日(土) 13時30分～

場所:西宮市民会館(大会議室101)

入場料:1,500円

「結コンサート～東北を忘れない～」実行委員会